

ゆたか倶楽部 よもやま話

vol. 30

昨年二月に「ダイヤモンドプリンセス」から騒動になった新型コロナウイルス感染、クルーズ業界に激震が走り今日までクルーズの低迷が続いてきました。このような中、クルーズ旅行専門のゆたか倶楽部では、海・船を中心に考えた「島への船旅」を造成し客船では訪れることができない離島巡りの旅をご案内してまいりました。今回はその島旅の話を致します。

◆「島旅」ツアー造成の原点……

昭和42年旅行会社で私の初めての添乗先は、「南洋の楽園東洋のハワイ」のキヤッチフレーズでの八丈島でした。（以降八丈島には150回余り添乗しました。）全日空の飛行機「フレンドシップ」で片道1時間。当時の私の初給料が2万5千円の時で、1万5千円で一泊二日の旅。島内観光では、牛角力、亜熱帯植物園、宇喜多秀家の墓（関ヶ原の戦いで西軍の大将、奥方豪姫が前田家出の為、死一等を免れ八丈島流人第一号として流され、年一回の前田家からの仕送りにより長寿を全うした。）、近藤富蔵墓碑（江戸末期に樺太を探検した近藤重蔵の子富蔵は、隣の百姓

一家を無礼打ちにした罪により流人となったが、非を悔い改め島の歴史・文化などをまとめ「八丈実記」を著し、晩年赦免となった。）、黄八丈（江戸城御殿女中が着た）の染元、などを巡りました。また、宿泊するホテルは昭和39年の東京オリンピックの東京代々木の選手村の宿舎を移築したホテルがメインで永らく利用しました。

この様な八丈島ツアーの添乗経験から、チャーター船、東海汽船の貨客船、航空機を利用して島の歴史、文化、観光、産業の奥深さを感じ、島にかかわったことにより、今日に続くゆたか倶楽部の「島旅」の原点と思っています。

◆沖縄、江田島、では……

また、昭和45年の大阪万博以降は大島運輸（現、マルエーフェリー）の3000トンの客船をチャーターして復帰前の沖縄へ度々訪れました。南部戦跡巡りでは、ひめゆりの塔、各都道府県の慰霊の塔へはバスに乗って参拝出来ました。嘉手納基地を始め米軍基地の現状も知らされました。「沖縄県民斯克戦へり、県民に対し後世特別のご高配を賜らん

ことを」と旧海軍沖縄根拠隊司令官太田実中將の自刃の時の話には涙を流される方がたくさんおりました。

また、この太田実中將の三男落合峻さんは親子二代に渡り江田島の海軍術科学校長をされ、平成18年ふじ丸をチャーターして江田島の正面棧橋からの上陸を初めて実施し、大変ご尽力をいただき、且つ船上では戦前の兵学校を含めた講演をしていただきました。

◆日本の島々へ……

島と言ってもメジャーな島、利尻・礼文島、佐渡島、隠岐の島、壱岐対馬、屋久島・種子島、奄美大島、石垣・宮古島などはバス、ホテル、昼食場所があり安心ですが、私の今目指している島は歴史的にも観光的にも恵まれています。島内の交通機関が全くない島の中で皆さんに喜んでいただける島を選び島の活性化にもなればと思っています。

以前にふじ丸をチャーターして瀬戸内海20島巡りを実施した時は、「島」の第一人者と言われている「加藤康二氏に船内講演をしていただき、「日本図鑑443島」（新日生出版発行）頂戴し勉強をさせていただきました。現在でもアドバイスを受けています。

◆「島旅」に対するポリシー……

○歴史、文化、産業、風景、祭り、温泉など。
○上陸に際しての交通機関（時期）、フェリー、高速船（定期船として一日の

運航回数と所要時間）、チャーター船、渡船、海上タクシー、溪船
○行政機関の協力（ボランティアガイドなど）

○島内での交通機関（ほとんどが徒歩移動となる、坂道、階段数、距離と時間）

○地産地消の昼食、温泉

○参加人員の制限

○全ての下見の実施、安心できるよう。

◆私が勧める島々とその理由……

○東京都 青ヶ島 日本最少170名の村、米国の環境保護NGOの「死ぬまでに見るべき世界の秘境」に日本で唯一選ばれた。

○愛知県 日間賀島 7月の祇園祭り

○香川県 栗島 国立海員学校跡

○高知県 伊吹島 イリコ漁の最盛期

○高知県 沖ノ島 荒木初子保健婦家

○高知県 鶴来島 島のガイドと家族のカフェ

○佐賀県 高島 宝当神社での宝くじ

当選祈願

◆ゆたか倶楽部「島旅」の勧め……

コロナ感染もどうにか収まりつつあり、ゆたか倶楽部ではいろいろな島旅をご案内しておりますが、客船では訪れることが出来ない離島には、客船の旅とはひと味もふた味も違った楽しみがあり好評です。今後も今回の島旅ブランドを通じて皆様に喜んでいただける商品開発を続けてまいります。